

### 1. 研究主題

コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の育成  
 「読むこと」「書くこと」、「話すこと（やり取り）」の小中連携を通して

### 2. 研究の具体 【外国語に置ける円滑な小中連携】

#### ① 「読むこと」「書くこと」の小中連携

中学卒業段階

系統性・継続性のある文字指導を積み上げることで、読み書きに慣れ親しみ、書き手の意向を理解したり、自分の考えや気持ちなどを書くことができる。

**読む** まとまり、概要理解、音声・強勢・イントネーション、感情移入

中学校

**書く** 正しい語順、つながり、まとまり、構成、自分の考え・気持ち

音声で親しんだ英文を読む  
：模擬リーディング

高学年

選んで書く：語彙を選びながら  
簡単な文を書く

文字の音をつないで身近な語を読む

視写：単語や文を視写

音声と文字との音韻認識  
：フォニックスチャンツ・見て発音

中学年

アルファベット文字の認識（小文字）

英語の音に対する気付き  
：日本語とは違う音・リズム・イントネーション

低学年

アルファベット文字の認識（大文字）  
：歌・チャンツ・マッチング・線つなぎ

絵本の読み聞かせ

#### ② 「話すこと（やり取り）」の小中連携

中学卒業段階

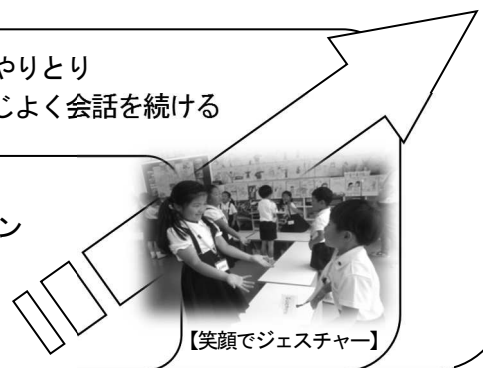
系統性のあるコミュニケーション活動を継続することで、他者を尊重しながら円滑なコミュニケーションを図ることができる。

〈中学生〉・話題に関連した質問 ・工夫して会話を継続 ・意見や感想を伝える

〈高学年〉・既習表現を使った会話の継続 ・即興的なやりとり  
・反応（相づち、繰り返し、質問）して、感じよく会話を続ける

〈中学年〉・基本的な英語表現を使って対話  
・相づちを打ちながら、自然なコミュニケーション

〈低学年〉・1対1 だれとでも仲よく活動  
・smile, eye contact, gesture, clear voice



### 3. 研究の検証及び改善の手立て

#### ・小学校

- 系統的に繰り返し指導を進めていくことで無理なく文字の認識が進み、既習表現を確実に身に付けることでやり取りの幅が広がった。

#### ・中学校

- 既習表現を使って表現しようとする態度や能力が身に付き始め、即興性を生かしたコミュニケーション能力の高まりがみられるようになった。
- 相手を意識した表現方法に課題が見られる。